

【北塩原村】
校務DX計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での公務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での公務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本村において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1 校務系・学習系ネットワークの統合

現在、教育ネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離し、インターネット経由等から児童生徒の個人情報等にアクセスできない構成としている。

そのため、校務用と学習用それぞれの端末を用意し、校務用端末は持ち出しを禁止している。今後、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、1台の教職員用端末で2つのネットワーク（校務系及び学習系）を切り替えて利用する等のゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき適切にセキュリティを確保しつつ、校務系・学習系ネットワークの統合について検討を進める。

2 校務支援システムの導入

令和5年3月に文部科学省が取りまとめた「GIGA スクール構想の下での公務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務 DX」環境を目指し、必要な環境整備について、福島県及び県内の市町村教育委員会等とも連携しながら理解を深めるとともに、校務支援システム導入に向けて検討を進める。

なお、導入の際は県下統一の校務支援システムを考えているが、導入に当たって維持管理費用等の確保が課題となっている。

3 次世代校務 DX 環境の整備について

学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、引き続き、FAX は利用せずメールや共有フォルダを利用するなど、各種デジタル化・オンライン化を進めてきたが、学校によっては依然紙ベースでの運用をしているため、業務の円滑化・効率化の観点から、押印の原則廃止を促進し、各種デジタル化及びペーパーレス化を積極的に進めていく。

ICT を活用して校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革を推進する。